



リベラルアーツの復権と文理融合をめざす

政治社会学会
ASPOS ASSOCIATION FOR THE
STUDY OF
POLITICAL SOCIETY



一般社団法人 福岡デンマーク協会 (FDA)

政治社会学会 (ASPOS)

第 13 回総会及び研究会 プログラム

複合危機下の政治社会ーポスト・コロナとポスト・ウクライナを見据えて

**Political Society in the Complex Crises:
the world after the Covid and Ukraine crises**



2022年12月10日(土)、11日(日) 於九州大学大橋キャンパス共
催 九州大学アジアオセアニア研究教育機構文化変動クラスター後
援 福岡デンマーク協会 (FDA)

会場案内

九州大学大橋キャンパス (福岡県福岡市南区塩原4-9-1)



空路

福岡空港→(地下鉄空港線)→「天神駅」→「西鉄福岡駅」→(西鉄天神大牟田線)→「西鉄大橋駅」

JR

「JR 博多駅」→(地下鉄空港線)→「天神駅」→「西鉄福岡駅」→(西鉄天神大牟田線)→「西鉄大橋駅」

西鉄

「西鉄福岡駅」→(西鉄天神大牟田線)→「西鉄大橋駅」

高速バス

JR 博多駅下車(あとは JR の場合と同じ)

天神バスセンター下車(あとは西鉄の場合と同じ)

キャンパスマップ



利用会場

5号館 (511、512)

- ◆ 511 教室：総会、基調講演、企画・自由論題セッション
- ◆ 512 教室：理事会、休憩

参加方法 (以下よりお申し込みください。非会員の方もお申し込みいただけます)

<https://forms.gle/ioPjSYk8CNRFWayz8>

大会プログラム

1日目 2022年12月10日(土)

総合司会：大山貴稔（九州工業大学）

10：00～10：10 開会挨拶

副理事長・大会実行委員長 泰松範行（東洋学園大学）

10：10～12：10 セッション1：ポストパンデミック社会を考える（511教室）

司会 中村知子（茨城キリスト教大学）

スピーカー

永島剛（専修大学）「感染症流行の数量的把握をめぐる歴史学」

五十嵐敏郎（住化エンバイロメンタルサイエンス社技術アドバイザーほか）「2030

年の社会を動かす10のKey Drivers」

泰松範行（東洋学園大学）「コロナ後の大学教育を考える」

討論者 三石博行（株式会社メディエコ研究開発）

12：10～13：00 理事会（512教室）

13：00～13：30 総会（511教室）

13：30～14：30 基調講演1（511教室）

香川敏幸（慶應義塾大学）「21世紀に『戦争』を考えるーロシアによるウクライナ侵攻を機に」

14：30～15：00 コーヒーブレイク

15：00～17：00 セッション2 自由論題（511教室）

司会 吉田龍太郎（慶應義塾大学）

スピーカー

玉井美香（大阪教育大学）「戦後沖縄の陪審制度」

滝澤三郎（東洋英和女学院大学）・大茂矢由佳（筑波大学大学院）「難民・避難民受け入れについての日本人の意識調査」

岸本隼弥（放送大学）「国際政治研究における理論的対立の再検討ーリサーチプログラム論を中心として」

17：00～18：00 セッション3（特別企画セッション）：マインドフルネス（511教室）

司会 加藤朋江（福岡女子短期大学）

スピーカー 入江詩子（ORGANIC & COMMUNICATION LAB.）「疲れている研究者のためのマインドフルネス」

18：30～ 懇親会（別会場）

2日目 2022年12月11日(日)

総合司会：大山貴稔（九州工業大学）

10：00～12：00 セッション4：ウクライナ侵攻に対する多角的視点（511教室）

司会 香川敏幸（慶応義塾大学）

スピーカー

ボホロディッチ・ベアタ（Bochorodycz Beata）（アダム・ミツキェヴィチ大学）「ポーランドの視点から見たロシアのウクライナに対する侵略戦争」

福井英次郎（明海大学）「日本のメディアから見るロシアによるウクライナ侵攻」

市川颯（東洋大学）「EUの対露経済制裁をめぐる政治過程」

討論者 大賀哲（九州大学）

12：00～12：40 理事会（512教室）

12：40～13：20 基調講演 2

Chair: Toru Oga (Kyushu University)

Speaker: Benjamin San Jose (Ateneo De Manila University) "Comparing the recruitment practices and outcomes of Filipino and Vietnamese interns: Implications for Japan's post-pandemic labor migration policies"

13：20～15：20 セッション5：気候変動（511教室）

司会 市川颯（東洋大学）

スピーカー

津田啓生（みずほリサーチ&テクノロジーズ）「脱炭素に向けた日本産業のトランジション動向と課題」

スーネ・ストロム（Sune Strøm）（デンマーク王国大使館）「競争力確保のための再生可能エネルギー政策」

阿部伸一郎（Ramboll Japan）「日本での洋上風力拡大の取り組みと課題」

討論者 市川颯（東洋大学） 高橋叶（デンマーク王国大使館）

15：20～15：50 特別講演

司会：市川颯（東洋大学）

スピーカー：中村正雄(福岡デンマーク協会)「福岡デンマーク協会紹介と『対話力』への取り組み活動」

15：50～16：10 コーヒーブレイク

16：10～17：40 セッション6：政治社会学の今後（511教室）

司会 大賀哲（九州大学）

スピーカー

新川達郎（同志社大学）：「境界を越える協働の場としての「政治社会」学に向けて」

ウヤル楨林アイスン（同志社大学）：「Science-society Interface」の観点から見える学会の今と今後」

大山貴稔（九州工業大学）：「「有識者」の形成と展開—日本の対外政策をめぐる政治

社会の結節点」

討論者 泰松範行（東洋学園大学）

17：40～18：20 基調講演2

司会：大賀哲（九州大学）

邵軒磊（台湾師範大学）「計算政治社会学：概論と応用」

18：20～18：30 閉会挨拶

理事長 大賀哲（九州大学）